

2. 公開講演会「スーパーコンピュータと大型科学技術計算」開催について

最近、スーパーコンピュータと通称される、現在の汎用大型機より10～100倍高速の科学技術計算専用の超高速計算機が話題にのぼっています。我が国でもCRAY-1を凌駕する性能を持つ国産のスーパーコンピュータが今秋から出荷されます。このため、複雑で大規模な系を計算機により解析・研究していこうとする大型科学技術計算の要求が現実に実行可能なものとなりました。

そこで、センターでは、メーカーの開発者の方々、今秋から実際にスーパーコンピュータが稼働を始める東大大型計算機センター、名大プラズマ研のセンターの方々、本センターの大型計算ユーザの方々にお集りいただいて、下記の要領で標記公開講演会を開催することにいたしました。大型科学技術計算に興味をお持ちの方は、奮ってご参加ください。参加希望者は、6月4日(土)までにセンター共同利用掛(電(内)2505)までお申込みください。

なお、本センターにおける大型科学技術計算の現状、およびスーパーコンピュータの簡単な紹介については、文献[1]を参照してください。

記

日時 6月10日(金) 10時～17時

場所 九州大学大型計算機センター 多目的講習室(3階)

プログラム

10:00～10:10 開会挨拶

10:10～11:10 FACOM VPのハードウェア
内田 啓一郎 (富士通)

11:10～12:10 FACOM VPのソフトウェア
棚倉 由行 (富士通)

昼 休 み

13:10～14:10 東大センターにおけるスーパーコンピュータ
HITAC S-810の利用
唐木 幸比古 (東大大型センター)

14:10～15:10 プラズマ研究所におけるスーパーコンピュータ
FACOM VPの利用
阿部 芳彦 (名大プラ研計算センター)

休 み

15:20～16:00 航空流体力学分野における大型計算
桜井 晃 (九大・工・航空)

16:00～16:40 生体高分子構造分野における大型計算
野口 俊之 (九大・理・物理)

16:40～17:00 総合討論とまとめ

参 考 文 献

1. 武富，川崎，上妻，景川 センターにおける大型科学技術計算の動向調査 — スーパーコンピュータによる大型計算への期待 — ，九大大型計算機センター広報，16,3, 1983.

(研究開発部ネットワーク研究室 電(内)2509)